

令和8年度 理系人材育成事業（ハイレベル理系研究）募集要項

1 目的

この要項は、県教育委員会が実施する「理系人材育成事業」において、公募によりグループを採択して実施する「ハイレベル理系研究」の応募資格、申請方法等について定めるものとする。

2 趣旨

日本全体で理系人材の不足が課題となり、特に理学・工学分野での女性の人材不足は深刻であると言われる中、静岡県から将来の科学技術を牽引する技術者・科学者を育成するため、既存の枠組みにとらわれない高度な理系研究を支援する。本事業では、単なる事象の解明にとどまらず、研究成果をいかに社会へ還元し、課題解決に繋げるかという「社会実装」の視点を重視する。県内高校生の知的好奇心と創造性を結集し、ディープテック的発想による挑戦的な研究活動を公募する。

【本事業における「理系研究」の定義】

本事業における「理系研究」とは、理科、数学、情報の理系科目分野の課題に加え、工業、農業等の専門科目分野の課題及びそれらの分野横断的な課題について、仮説に基づき科学的な手法により調査・分析し、得られた結果について科学的な視点で考察することを通して課題解決を目指す研究を指す。

【本事業における「社会実装」の定義】

本事業における「社会実装」とは、研究成果が将来的に社会課題の解決に結びつく道筋（ロードマップ）を明確にすることを指す。研究成果発表会として実施する「理系研究 EXPO」の時点で実装が完了している必要はないが、情報の収集、プロトタイプによる検証、または企業や大学等との連携を通じた社会適合性の検討過程を必ず含むものとする。

3 事業内容

- (1) 応募したグループの研究を対象に選考を行い、10 グループを採択し、伴走支援を行う。
- (2) 採択されたテーマについて研究し、研究成果発表会として実施する「理系研究 EXPO」で審査、表彰を行う。

4 年間計画

月	内容
6月中旬	応募締切後、選考
6月下旬	選考結果通知
7月25日(土)	キックオフイベントを実施(「TECH BEAT Shizuoka2026」に参加)
10月下旬	中間報告会を実施
令和9年 1月末以降	研究成果発表会「理系研究 EXPO」を実施
3月末	研究成果報告書提出

※上記計画における日時、場所及び内容等の詳細は、選考結果通知時に連絡予定

5 応募資格

以下の条件を踏まえ、応募すること。

- (1) 静岡県内の高等学校(県立、市立、私立)に在籍する生徒を対象とする。
- (2) グループによる研究を対象とし、個人による応募は不可とする。
- (3) グループには、グループの研究を管理する指導教諭を定める。
- (4) 上記趣旨を踏まえた社会実装を視野に入れた高度な理系研究を対象とする。なお、研究テーマや内容については新規、継続を問わない。
- (5) 女子生徒が積極的に参画することが望ましい。
- (6) 複数校による合同チームも認める。ただし、申請時には各学校において指導教諭を定めるとともに、主となる学校を1校定め、選考後の研究費等の管理はその学校の指導教諭が担うものとする。
- (7) 1校から複数グループが応募してもかまわないが、選考においては1校につき1グループのみを採択する。
- (8) 文部科学省による「令和7年度産業イノベーション人材育成等に資する高等学校等教育改革促進事業」の拠点校(予定)については、応募することは可能だが、拠点校として採用された場合は選考において対象外とする。

6 伴走支援

採択されたグループには、社会実装に向けた視点を持つ企業等アドバイザー(研究費とは別に配置)による指導助言等の継続的な伴走支援を行う。

また、研究費について、1グループあたり最大200万円まで事業として負担する。

なお、金額については、選考において研究計画書及び予算計画書を精査して決定する。

7 研究費執行方法についての留意点

- (1) 研究費は、研究に必要な以下の経費に充てることができる。

ただし、研究計画書において真に必要なことが明記されたものを予算として計上することとし、経費の内容や必要性等の詳細を精査した上で執行の可否を判断する。

項目	内容
報償費	大学教授等の外部講師への指導謝金 ※各校の規定に基づき、予算内で柔軟に対応可能とする。
旅費	生徒及び引率教員の交通費、外部講師旅費等 ※キックオフイベント、中間報告会及び「理系研究 EXPO」への交通費を研究費予算に計上しておく。(現時点では場所は調整中のため、県庁までの交通費を概算で計上する。)
物品購入費	実験器具、分析装置、実験消耗品、図書購入費、ソフトウェア代等
役務費	外部機関に委託する分析等経費、組立作業代、郵送費、傷害保険料等
使用料及び賃借料	施設使用料、実験機材レンタル料等
その他	上記区分に該当しない費用

(2) グループの生徒や外部講師等の飲食代やお土産代は計上しない。

8 応募上の留意点

- (1) 選考で採択されたグループは、年間計画に示された各イベントに参加する。
- (2) 選考で採択されたグループは、研究終了後、令和9年3月末までに研究成果報告書を提出する。提出様式や提出期限等の詳細については、選考結果通知時に別途指示する。
- (3) 過去に理科の各賞や各団体主催のコンクール等へ出品した研究と全く同一の内容での応募は不可とする。また、今年度実施される各賞やコンテスト等へ本事業における研究成果と全く同一の内容での応募は不可とする。ただし、過去の研究を発展させ、本事業の趣旨に沿って「社会実装」の視点を加えたもの等は応募可能とする。
- (4) 本事業の広報のため、生徒の肖像等がメディアや県ホームページ等で公開されることに同意する。

9 選考方法

(1) 審査

ア 提出書類による書面審査とする。

イ 審査は以下の観点で行い、審査員の協議による総合審査で10校のグループを採択する。

- ①社会課題解決及び社会実装へのアプローチ及び解決や実現の可能性
- ②研究の専門性・独創性
- ③研究計画の妥当性(材料と方法、研究過程等)
- ④年間を通した研究の継続性及び今後の発展性
- ⑤グループの協働性
- ⑥外部連携の計画
- ⑦研究費予算の妥当性

(2) 「理系研究 EXPO」

上記審査の観点に加え、研究の内容と過程、結果と考察、研究の成果と今後の発展性等を総合的に審査する。詳細は、選考結果通知時に連絡する。

10 応募方法等

「ハイレベル理系研究」に応募するグループは、上記趣旨等を踏まえ、実施する具体的な研究テーマ及び研究内容について、次のとおり書類を作成し、提出する。

(1) 提出書類

ア 【様式1】「ハイレベル理系研究 研究計画書」

イ 【様式2】「ハイレベル理系研究 研究費予算計画書」

(2) 提出方法

電子メールに添付して提出する。

件名：「ハイレベル理系研究応募【学校名】」

ファイル名：「様式1 研究計画書【学校名】」

「様式2 予算計画書【学校名】」

提出先メールアドレス：kyoui_koko@pref. shizuoka. lg. jp

(3) 提出期限

令和8年6月10日（水）午後5時

(4) 結果の通知

令和8年6月末を目途に通知する。

(5) その他

本課にて応募の電子メールを受信後、締切翌日の6月11日（木）に、応募メール送信者のメールアドレスに対して受信済確認メールを返信する。必ず確認し、確認メールが届かない場合は、6月12日（金）に担当者まで電話で連絡すること。

11 問い合わせ先

静岡県教育委員会高校教育課指導第1班

電話 054-221-3114